広報 いずみざき

No.297
1992年（平成4年）
4月号

発行・編集／泉崎村役場総務課
福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字新宿2
TEL　0248－53－2111㈹

印刷／野木印刷所

平成4年4月1日発行

115人の春 巣立ちのとき

平成三年度泉崎中学校卒業式

3/13

平成四年度 施政方針

海上村長 施政方針演説

三月定例議会（3/10～3/16）

平成四年度 施政方針

「活力」と「魅力」の村づくり表明

平成四年度予算総額は百六十二億二千万円（伸び率五〇・八％）と超大型予算となりました。予算は単に大型であるということだけではなく、在宅老人給食サービス事業、福祉バス運行事業など各種事業に村民の福祉にきめ細かな配慮がみられるものとなっています。村長はこの大型予算の提案とともに平成四年度の施政方針において、「活力」と「魅力」の村づくり施策を表明しました。その概要を報告致します。

総参加の村づくり

自治の本旨とは、住民の幸せを願って地域の活性を高めるために諸々の施策を構じていくことです。人口を伸ばし村の経済を高める政策もその一つです。さらに行政は村民のみなさんが現実にかかえる問題と村政自身として果すべき当面の課題を処理する任務をもつものです。村の政治は常に新しい可能性を求めるため自らの工夫と研究によって現在と未来に亘る生活を守り築くという村政に課せられた課題に迫るものでなくてはなりません。二十一世紀には泉崎村が今まで高めてきた生活の質とレベルを更に意欲的に結晶させなければならないと思います。

そして「日本一の村づくり」とは「活力」とともに「魅力」の村づくりです。つまり力と美の村づくりです。

泉崎村は未来にチャレンジし後世に生きる村民が郷土の生活の条件に満足し希望をもって生きていくのでなければ、今の私たちは子や孫に誇りを抱かせることができません。

自然がもたらす波に揺られるままに身をまかすことでは生存と文化をつくっていくことはできません。

人は生きるために闘いを続けるものです。それぞれの村民のみなさんが、わが家の生業に工夫をこらし、まじめな取り組をしていま す。それは他でもなくわが家の生きる闘いです。私はこうした村民のみなさんに最大の尊敬を送るものです。

複数の人間のまとまりと一つの地域的広がりを単位として考えた場合、村としての生き方も同じ原理です。

例えば、新しい作物の導入と研究と工夫によって生産性の高い農業をつくることです。この点、本村では首都圏をめざす園芸作物の生産を盛んにすていることは喜びに耐えません。すで

に三千万円台の農業収入をあげている農家群が現われています。高く評価されてよいと思います。これは農家の努力であり工夫です。こうした努力は、独り農家だけでなく、工業も、サービス業もそれぞれの分野で同じでなくてはなりません。

スポーツもレクリエーションも音楽や美術にと、多様な芸術文化の活動も、また、ビジネス活動も整理された自然と原始の自然と併立する姿の中で考えていかなければならない時代です。

私の政治信念

わが村にとって平成四年度は村づくりの課題の多い年度です。二十一世紀への事業と理想は卑近にして遠大です。従って目的と自覚を欠いた村づくりに流れ、場当りに過ぎてはなりません。活性をつくる村づくりは理論と科学に支えられたものでなければなりません。

そして、計画と道筋を大切にする村づくりでなければなりません。信念と自信に燃えた力強い取り組みでなければなりません。

私は村長として村民の付託に応えることは私の当然の義務です。従って、私は村長として村をつくる仕事に私の全知全能を傾け命をかけてその責任を果す覚悟です。

私は今まで以上に、二十一世紀への基礎をしあげるために村民のみなさんと共に「現在」発「未来」行きの泉崎の推進に全力を入れることを誓います。

村政の総括とこれからの見通し

平成三年度は計画に従って着実な成果を収めているところです。

わが村は年々人口の増加と大きな伸びとなりました。これは東北一、大都市周辺の特殊地区を除けば、まさに全国一といえます。その後も順調に伸び現在は六、八五〇人と日々記録を更新しています。人口は村の勢いを代表する道しるべです。これは、ニュータウン政策、企業誘致政策、民間アパート施策などの成果です。間もなく七、〇〇〇人台になることは確実に予想されることです。人口増加は又、村民所得の増加と大きく関連しています。

昭和五十五年との比較では、村の総生産は一三五億三千八〇〇万円で六十六億一千七〇〇万円と伸び増加率九十六%です。県下で上位五位です。また一人当り分配所得では一八一万円と八四・四%の伸びで、県平均格差では一六四・八%と長足の飛躍です。所得と産業の傾向について分析すると、総生産一三五億三千八〇〇万円に対して、二次産業が八五億八千一〇〇万円と伸び、一次産業が減じています。しかし、農業分野でも三、〇〇〇万円クラスの園芸農家の出現からも分るようにそ菜園芸農業を主とする専業農家群の向上があることは構成産業比の縮少的シフトがあったとしてもむしろ好ましい傾向です。この面からも新農業、新そ菜園芸など施設園芸を興し精鋭農家群を育成していく必要があります。このため施設園芸の普及支援、農地流動、規模拡大、そして首都圏人口を相手とする作目の研究など一層強化していく必要があります。同時に花き農業、バイオシステムなど生産態勢を整え農業を新しい体質に導くことにつながります。これは組織的とり組み、研究的姿勢と政策的指導をもってすれば必ず実現できると信じます。二十一世紀の特産的農業を確立させ、農工に亘るバランスある産業形態を実現させなくてはなりません。

農業の動向と新しい体質

現在、自由貿易の促進からガット・ウルグアイランドで七年越しの論議の中で最も難航した農産物交渉は我々の重大な関心事です。

日本農業のこの十年の貿易の歩みは、オレンジ、牛肉、乳製品と相次いで自由化されいま残るコメが危機にさらされようとしています。このような厳しい情勢にある地域の農業を切り開いていくためには、全国画一の農政ではもはや対応できないところまできています。地域の特色を生かした農業を展開していくことが極めて大切です。また、こうした農業こそ広範な科学の上になり立つ産業です。もっとも頭脳を使う、高い技術を要する産業です。

人材を育成し、地域の条件を整備することによって可能になっていくものです。先進地域では農業の分野にも先進型装備をし、ハイテク技術を駆使した農業が数多くあります。わが村ではこうした視点に立ち、バイオセンターによる経営に着手し、試験栽培、生産を行ってきました。これらのノウハウについて一応の目算を得たので、これを本格施設の拡大、拡充をはかり、いよいよ農家のアクセスに歩を進めたいと考えています。

一般果菜園芸については白河農協を事業主体とし、共同トマト選果場をつくり成果をあげています。同様に平成三、四年の事業として、キュウリ共同選果場を建設しそ菜園芸の振興に寄与したいと考えています。

また、水田農業確立営農条件整備事業の一環として白河農協関平支所の集出荷に低温貯蔵庫の導入を進めています。

バイオセンターによる新園芸システムによる農業、一般そ菜園芸の出荷などの両面を通して首都圏指向の先進型科学的な農業を普及するように努めたいと思っています。

平成三年度の総括と四年度のとり組み

まず、平成三年度に実施した事業については、中核工業団地、農業集落排水事業、水道第一次拡張工事、国体種目自転車競技場、特定地区公園カントリーパーク事業については、プールの建設、更に弓道場建設事業、農村基盤総合整備事業などが主要事業です。

次に平成四年度の事業内容を述べます。

中核工業団地は、未来に向って経済づくりの拠点で今までの工業団地一連の造成計画の総仕上げともいうべきもので、村が二十一世紀にかける期待のプロジェクトです。平成四年度の根幹事業として一日も早く完成にこぎつけたいと思っています。すでに進出企業は決っており一日も早い操業始動ができるよう万全の造成予定を遂行いたします。

駅周辺整備は、調査事業、地権者交渉を進めてきましたが村の核となる地域をさびれから振興へ導く重要な事業です。天王台団地との関連事業として強力に推進する予定です。

住宅団地計画は、駅周辺整備と関連する天王台団地の本格造成に着手することに致します。

なお、関係者からの強い要望のある関平地区、太郎ケ岡地区開発については調査をしてみたいと考えています。

第一小学校建設については調査事業並びに推進体制の促進強化に歩を進めたいと思います。更に幼稚園についても考えていますが、緩急序列を検討し、先ず第一小学校から着手する予定です。

国際健康科学大学については、先月（二月）、設立準備財団に対する出資手続き

並びに申請書の提出を完了しました。今後は許認可の承認送達をまって本格的準備体勢に入ることになります。

国体の自転車競技場については三年度に続き建設を進めていますが、平成五年のプレ国体に向けて完成を図る予定です。

集落排水事業の農村下水ですが関和久地区、瀬知房地区の事業遂行に向けて継続実施をはかっていきます。

平成四年度の教育について

云うまでもなく教育は国の基本であり、村の基本であり、かつ人材育成の基本であります。泉崎の教育の充実をいかに図るべきかについては、長期的見通しの中でその施策、その施設に慎重な検討を加えつつ方針を貫いてきました。

教育の事業は、単に学校施設がつくられていく「事業」としてだけでなく児童生徒の「生活の場」としてとらえ、人格形成の重要な場であると考えなければならないと思います。従って、教育環境を含めた教育の質的改善に役立つものでなければなりません。従って、教育環境を含めた教育の質的改善に役立つものでなければなりません。

今年度以降は第一小学校幼稚園の建設が求められますが、まず第一小学校から手がけたいと思います。

教育論議の中で教育条件、教育技術など何れも大切な要素としてとりあげられますが、人間育成の場としてふさわしい子ども達がやる気を起す「環境」がより大事な要素であると思います。

教育環境として村全体をとらえた場合、公民館、図書館、文化会館、美術館、科学展示館などが備わっていくことが理想的であると思います。しかし人口規模、利用者数等、更に財政的に一度にできるものではありません。効率的利用がはかられることを念頭に必要不可欠なものから実施していく考えです。四年度は、駅周辺開発整備と関連させながら**歴史資料館を建設**予定です。同様に地域環境として大学の設置は地域に与える教育的インパクトは極めて大きいものがあり、村の発展に大きなポイントとなります。

次の世代を担う青少年の健全育成のためには、家庭学校、地域社会が一体となって推進体制をとらなければなりません。ふれあいソフトボール、清掃作業の一斉参加、映画会等の参加推奨し、健全育成の促進をはかりたいと思います。

さて、平成七年の**国体**については、すでに「国体準備室」を設置し、体制づくりに万全を期しているところです。今後は更に選手役員その他の宿泊等の受け入れについてホテル、民宿など準備体制を整えるべく力を入れていきます。

国際交流推進事業については、すでにみなさんご承知のとおり、密度の濃い交流を実践してきました。今年に入ってからもビックフレンドアメリカツアーの少年使節、三月には大人のテモラ町訪問が実施されています。

生涯教育については、少年から老人に至る人生の総べての時期に、いつでも自由に学習できる学習社会を築いていく必要があります。生涯に亘って生きがいを感じ、心も身体も充実した毎日を送れるような社会と人生をつくることです。社会の進歩に遅れないように、自分の知識、教養を身につけ、趣味を豊かにするためにいろいろな活動に参加する意欲をもつことです。村では、公民館活動を通してさかんな組織的展開をはかっています。

（次ページへ続く）

平成四年度の福祉

福祉とは住民の生活が快適なレベルで物心両面が豊かで充実した生活ができる社会に安心して生きられることです。村が取りくんでいる経済、社会、快適未来づくりのすべては、すなわち福祉を目指すことにあります。

村が取りくむ施策としては第一に、長寿社会、高齢化社会の進行のさ中における高齢者に対する政策です。

高齢者の雇用が大切です。そして「寝たきりゼロ」を目指す必要があります。村では昭和六十一年に特別養護老人ホーム、平成二年にはディ・サービスセンターをつくり多くの方に利用されています。施設福祉サービスは待つことなく利用でき、入居できるということが大事です。在宅福祉ではホームヘルプ事業があり、ヘルパーさんが日常生活に支障のある人、高齢者の方の介護や家事の世話などをしています。本村では社会福祉協議会が中心となって活動しています。このほかにショートスティ事業、デイ・サービス事業があり、これを在宅福祉の三本柱としてきめ細かい福祉を実践していく考えです。

平成四年度から一人ぐらし老人世帯に**給食サービス**を実施する方針です。差し当り週一回、配食についてはボランティア活動によって行う予定です。また地域の高齢者、障害者等の福祉充実と交通の利便性向上という面から「**生活福祉路線バス**」を実施いたします。

平成四年度の予算

今まで述べた政策を予算面から重点的に見ると次の一覧表（本紙7ページの表）のとおりとなります。また、一般会計、特別会計、企業会計も次のとおり（本紙7ページから9ページ）です。

当初予算一六二億二、七三六万円となり、伸び率、五〇・八%の大型予算となっています。

終わりに当って

村づくりは開発だけが仕事ではありません。高い村民の経済の力の上に豊かな心と体をつくり満足できるくらしが送れるようにしなければなりません。それが我々の目指す村づくりの姿です。村づくりは待ちの姿勢では絶対にできない性質の仕事です。泉崎村は、今、未来へのチャレンジの最中であります。

泉崎村の山林原野は合せて、一七〇〇*ha*です。すでに開発した面積、これから開発するものを含め四二〇*ha*、村土の面積は三、五四一*ha*です。村の面積に対しては十一・九%、山林原野に対する転用は二四・七%です。従って全面をむき出しにするということでは全くありません。しかもこの転用面積の中には松林、雑木林などのままで三〇%以上が残っています。だから緑と生体系を失なう山肌をむき出しにする荒廃への作業ではありません。

自然と人間のかかわりは遠い祖先たちが美田を開いたときから我々がする生存への仕事と共通です。空海上人が言った人間個性の、「開発」も自然の個性の開発も生けとし生けるもののためにあることを忘れてはならないと思います。ハードなねらいが終ったとき、その上に無限に探求できるソフトの開花が必ず訪れます。かくして、私は泉崎を福祉の国にしたいのです。自然のエコロジーと村民の幸せとの共存のために最大細心の配慮を払いつつ新しい泉崎が生れていくのです。

予算総額 162億2千万円（伸び率 50.8%）

平成4年度　各会計別当初予算一覧表

（単位＝千円・%）

会計名		4年度	3年度	差引	伸率
一般会計		3,617,000	2,860,000	757,000	26.5
特別会計	国民健康保険特別会計	392,220	382,152	10,068	2.6
	老人保健特別会計	477,284	506,853	△ 29,569	△ 5.8
	農業集落排水処理事業特別会計	914,004	633,167	285,837	45.1
	宅地造成事業特別会計	732,766	880,000	△ 147,234	△ 16.7
	工場団地造成事業特別会計	7,950,000	4,092,720	3,857,280	94.2
	サイクリングターミナル特別会計	72,000	65,080	6,920	10.6
	第一工業団地給水事業特別会計	6,832	6,639	193	2.9
村立病院事業特別会計		702,933	691,555	11,378	1.6
水道事業特別会計		1,357,322	644,910	712,412	110.6
計		16,227,361	10,763,076	5,464,285	50.8

平成4年度 重点事業一覧

（単位：千円）

事業名	事業費	事業内容
泉崎資料館建設事業	435,248	泉崎資料館A＝1,143㎡ （展示室、研修室、収蔵室）
農業集落排水事業	820,000	富久保地区　88,000 管路工　L＝900.0m 雨水処理　L＝350.0m 関和久地区　532,000 管路工　L＝4260.0m 柽内地区　200,000 全体実施設計 1.0式 管路工　L＝2050.0m
工場団地造成事業	7,950,000	泉崎村中核工業団地造成事業 開発区域面積　150 *ha* 原山工業団地造成事業 開発区域面積　3 *ha* 泉崎村バイオパーク造成事業 開発区域面積　10 *ha*
上水道第一次拡張事業	296,922	配水管布設　DIPφ300　250㎜ R-VPφ200、150、100㎜　L＝10,003m
宅地造成事業	732,766	泉崎駅東口開発事業 開発区域面積　25.5 *ha* 用地取得面積　23.0 *ha*
農村基盤総合整備事業	409,050	JRアンダーパス工事 土地改良区負担金（ほ場整備）
自転車競技場建設事業	155,570	競技場建設負担金　129,532 日本庭園建設　5,000 〃　用地費　15,038 〃　立木補償 養豚場移転補償　3,000 堆肥舎移転補償　3,000
泉崎第一小学校建設事業	20,781	土地測量、登記　3,000 校舎建設基本設計　7,000 校舎設計実施設計　10,500
福祉バス運行委託	5,000	村内巡回バス委託
在宅老人給食サービス事業	2,350	給食サービス配食車　1,330 給食サービス（40人） 週一回　1食 500円　1,020
農村総合整備モデル事業	14,141	農村公園（原地区）A＝3,000㎡ （遊具施設、ゲートボールコート）
企業的農業育成労力確保フロンティア事業	1,500	労働管理 労働力の斡旋・調整

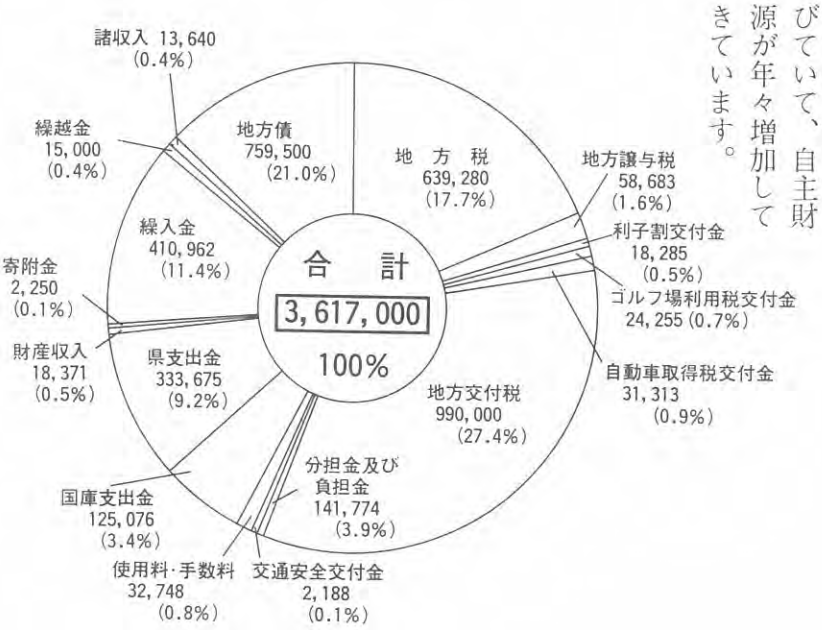
一般会計

歳入

地方税21・5％の伸び
自主財源の増加見込む

歳入予算額の主要な項目の予算額と構成比を見ますと、市町村の収入と支出のバランスにより所得税、酒税、消費税等を財源として国から交付される地方交付税が九億九千万円で歳入総額の二七・四％を占め、次いで資料館建設など各種建設事業に充てるため国等から借入れる地方債が七億五千九百五十万円、二一・〇％、次いで村民税固定資産税等の地方税が六億三千九百二十八万円、一七・七％、繰入金四億一千九十六万二千円、一一・四％、県支出金三億三千三百六十七万五千円、九・二％分担金、負担金一億四千百七十七万四千円、三・九％国庫支出金一億二千五百七万六千円、三・四％、以下地方譲与税一・六％、使用料・手数料〇・九％、自動車取得税交付金〇・九％の順になっています。平成四年度の歳入の特徴は、企業誘致による法人税と固定資産税の中でも特に償却資産の増加が大きな要因となっている地方税が平成三年度当初予算額と比較し、二一・五％と大きく伸びていて、自主財源が年々増加してきています。

歳入の構成比率　（単位：千円）



予算編成の方針

一、当初予算は年間の見透しに立った予算の編成を行ないました。

二、国、県予算にかかわる事業については、補助率等、国県編成方針の動向に留意して行ないました。

三、歳出の増加を伴う新規施策については既存施策の検討による振替えなど慎重な見積りを行ないました。

四、建設事業につきましては、事業内容の事前における十分な検討を試みたうえで綿密な調整がはかられました。

平成４年度予算総額

162億2千万円

伸び率 50.8%

超大型潤いと快適さ創造予算

平成四年度の泉崎村の予算は一般会計と国民健康保険事業会計外特別会計そして水道、病院の事業会計を合わせて百六十二億二千二百三十六万一千円で平成三年度と比較し五十四億五千九百二十八万五千円、五十・八％の伸びとなりわが村始まって以来の超大型予算となっています。快適な居住環境を整備する農業集落排水処理事業会計九億一千四百万円、駅東口に文化的宅地を造成する宅地造成事業会計七億三千三百万円、村活性に最大の効果をもたらす中核工業団地の完成を図る工場団地造成事業会計七十九億五千万円と、泉崎村の将来を展望した基盤づくりのため各会計がそれぞれの分野で工夫をこらした予算組みとなっています。

歳出

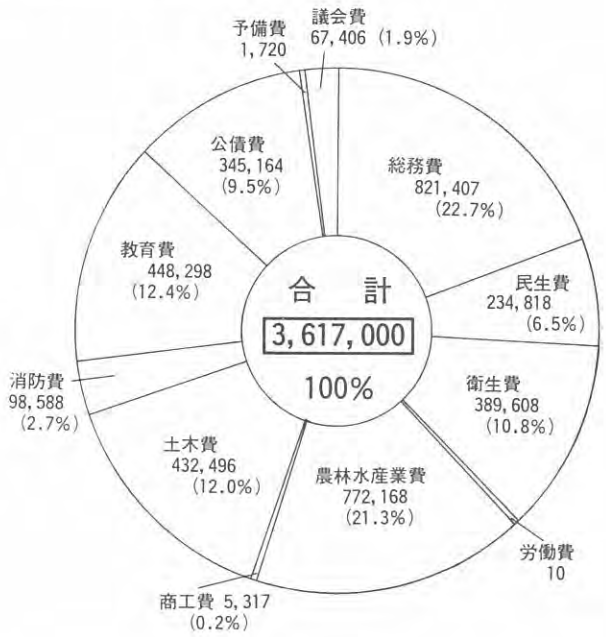
資料館建設等
快適環境基盤整備に重点

歳出予算について目的別にその内訳を見ますとまちづくり特別対策事業として駅前開発の先駆けとして建設する泉崎資料館建設、ふるさと創生事業、一般管理費等が計上されている総務費が八億二千百四十万七千円で歳出総額の二二・七％を占め、次いでＪＲ泉崎駅の東西をアンダーパスで結び今年度完了する農村基盤整備事業や本村農業の振興のため各種事業を要する農林水産業費が七億七千二百十六万八千円で二一・三％、国際交流事業、一小建設、自転車競技場建設と教育文化と国体施設の整備を行なう教育費が四億四千八百二十九万八千円、一二・四％、カントリーパークの整備、道路、歩道の整備を行なう土木費が四億三千二百四十九万六千円、一二・〇％、以下衛生費一〇・八％、公債費九・五％、民生費六・五％の順となっています。

次に性質別に歳出の状況を見ますと泉崎資料館建設事業四億三千五百二十四万八千円、農村基盤総合整備事業四億九百五万円、自転車競技場建設事業一億五千五百五十七万円、道路整備事業費三億二千二百五十一万円と潤いと快適さを創造するための普通建設事業費が十七億一千八百六十七万七千円で歳出総額の四十七・五％となっています。次いで人件費が五億九千三百二万円、一六・四％、ごみ処理、広域消防等一部事務組合負担金、村内各種団体に対する助成及び補助する補助費等が四億百十六万二千円、一一・一％、以下公債費九・五％、物件費八・二％、繰出金三・七％の順となっています。

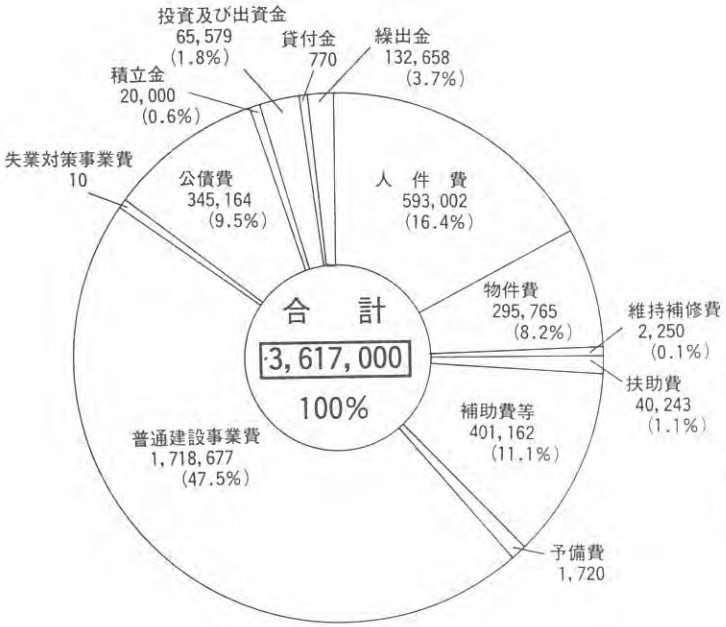
歳出目的別

（単位：千円）



歳出性質別

（単位：千円）



泉崎幼稚園で

泉崎フラワーデザイン
スクールよりプレゼントされました

マクエル先生の英会話教室

三月定例議会

当初予算等四十四議案可決する

平成四年三月定例会は三月十日招集され三月十六日までの七日間の会期で行なわれました。提出された議案は、平成四年度各会計当初予算など村長提出議案四十二件、議員提出議案二件の計四十四件の案件を原案どおり可決し、また新たに設置されました議会運営委員会委員四名を選任し閉会いたしました。可決された各会計当初予算以外の主な議案は次のとおりです。

○泉崎村福祉バス設置条例

高齢者及び障害者の福祉増進と交通の確保と利便を図るため村内を運行するバスを設置する条例の制定であります。福祉バスの運行は四月一日から実施されます。

☆泉崎村議会委員会条例の一部を改正する条例

議会に議会運営委員会の設置を規定したものであります。なお今回の議会で、五十嵐信男議員、鈴木俊貞議員、野崎吉美議員、三村文男議員の四氏が議会運営委員会委員に選任されました。

☆泉崎村国民健康保険条例の一部を改正する条例

助産費の支給額を四月一日から現行「二十万円」を「二十四万円」に引き上げる改正をしたものです。

☆泉崎村敬老年金支給条例の一部を改正する条例

村内の七十才以上の方に支給される敬老年金が、現行「二千円」を今年から「五千円」に引き上げる改正をしたものです。

☆泉崎村出産祝品贈呈に関する条例

第三子以降の新生児に出生を祝福し、健全で健やかな成長を期待するため、出産祝品を贈ることとした条例の制定であります。

☆村長、助役、収入役諸給与及び費用弁償並びにその支給の方法に関する条例の一部を改正する条例

職名	改正前	改正後
村長	六六三千円	六九六千円
助役	五〇九千円	五二八千円
収入役	四七八千円	四九六千円

（月額）

☆教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

職名	改正前	改正後
教育長	四六一千円	四七八千円

（月額）

☆議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

職名	改正前	改正後
議長	二三六千円	二六〇千円
副議長	一九〇千円	二一〇千円
議員	一七〇千円	一八八千円

（月額）

特別職並びに議会議員の給与等の改正は西白河地方特別職報酬審議会の答申に基づき、村四役については平均三・七一%、議員については平均一〇・五%の改定をしたもので平成四年四月一日から適用となります。

☆泉崎村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

教育委員、農業委員、選挙管理委員会等各種委員の報酬を平成四年四月一日から平均三・七一%引き上げの改定をしたものです。

☆泉崎村消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の報酬を次のとおり改正するものです。

職名	改正前	改正後
団長	一五二、〇〇〇	一六〇、〇〇〇
副団長	九六、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
分団長	四三、〇〇〇	五〇、〇〇〇
副分団長	三六、〇〇〇	四〇、〇〇〇
部長	二八、〇〇〇	三五、〇〇〇
班長	二三、〇〇〇	二五、〇〇〇
団員	一六、五〇〇	一七、一〇〇
	（円）	（年額）

視察相次ぐ

李 教授らと村長

去る二月二十日㈭、ソウル大学の教授李　弘根工学博士ら五名が来村し、わが村の農業集落排水事業全般を視察しました。

関平育苗センターで

去る三月十日㈫、山崎東北農政局長が来村し、泉崎村バイオセンター、育苗センター等（白河農協・関平事業所）を視察しました。

4月1日

福祉バス ふれあい号走る

村では、四月一日から生活福祉の路線バスとして福祉バスを運行いたします。

わが村は、国道四号線が通りJR東北本線泉崎駅があり、東北高速道矢吹ICへ十五分、新幹線新白河駅へ二十五分という村外への交通は大変便利な位置にあります。しかし、村内の交通は四号線に福島交通バスが通っているだけで、移動する交通手段がほとんどなく、大半の人は自家用車を利用しているのが現状でした。

村では、このことを重視し、その対応を検討していましたが、この度車の運転免許を持たない人、お年寄り、障害者のみなさんの交通利便のために福祉バス「ふれあい号」(名付け親・酒井喜代子さん外四名)を四月一日から運行することになりました。

運行路線は次の三路線で各方部を巡回して村の中心部、泉崎駅、役場、村立病院、老人センター・堂花温泉を経由、午後、帰りのコースはこの逆の順で運行する一日一往復します。日曜、祭日、年末、年始は運休で、料金は無料です。

(なお、詳しい時刻、停留所は保存用版として、各ご家庭に別途配布する予定です。)

【運行路線】

■1コース
踏瀬発(8:20)⇄太田川⇄高根⇄泉崎駅⇄役場⇄村立病院⇄富久保経由、老人福祉センター着(14:00)。

■2コース
木ノ内前(山寺入口)発(9:15)⇄山寺⇄上町⇄瀬知戸⇄屠胴原⇄ニュータウン⇄関平農協⇄新田⇄老人福祉センター⇄村立病院経由、泉崎駅着(15:10)。

■3コース
踏瀬長峯発(10:20)⇄十軒⇄休場山⇄泉崎駅⇄役場⇄外ノ入⇄村立病院⇄桏内経由、老人福祉センター着(16:10)。

※午後の帰りの運行は逆回りとなります。

平成元年度 経済成長率 52.3% ——県下第二位の伸び率——

この度発表された平成元年度の市町村民所得の総生産額で泉崎村は伸び率52・3%と大きな伸びで県下第二位となっています。

泉崎村長選挙

選挙期日	平成4年5月24日(日)
告示日	平成4年5月19日(火)
有権者数	(平成3年9月20日現在)
男	2,312人
女	2,462人
計	4,774人

農業を考えるフォーラム

去る二月二十五日(火)、泉崎村サイクリングターミナル「さつき荘」で、「二十一世紀を展望した農業を考える」フォーラムが開催されました。

これは、農業をめぐる環境の激変の中で、二十一世紀へ向けた農業の新らしい発展はどうあるべきかを討論しあい、模索するフォーラムで、専業農家、施設園芸、畜産農家、地元企業代表者、消費者等さまざまの立場の十五名のみなさんと白河農政事務所、西白農業改良普及所、白河農協等の関係者によって行なわれました。

まず、海上村長が「個々人の経済が豊かでなければ地域の発展はない。農工一体で所得増を図りたい。」と述べ、その後、紺野西白河農業改良普及所長の司会により、

◇**嫁不足**……男女出合いの場づくりが必要。◇**後継者不足**……条件整備が必要。◇**労働力**……省力化、平均化するためにはどうすべきか。◇バイオセンターが地域農業に果す役割りは何なのか。◇施設園芸は将来性有望。◇消費者のニーズに即応できる農業。◇企業としての農業……等、重大にして深刻な農業の問題と課題が三時間にわたり討議されました。

熱い討論が行なわれました

英国との友好交流深まる

村長、スティーブ・プレーター氏と会談

去る三月六日㈮、英国大使館（東京都）で、海上村長は同大使館一等書記官スティーブ・プレーター氏と会談しました。会談では、イギリス村構想推進、英語教員の派遣等について話し合いがなされました。この会談により、わが村と英国との友好交流が一段と期待が持たれます。

村長とプレーターさん

ケア・ハウスへプレゼント

去る三月十二日㈮、泉崎中学校三年二組の中野目理恵さんら三名と岩崎先生が特別養護老人ホーム「ケアハウス泉崎」を訪問し、一円玉壁画と五千円を寄贈しました。これは昨年の同校文化祭の時に一円玉壁画を作成するためクラスで募金を呼びかけた折の募金と、売り上げ金の一部をまとめたもので、卒業に当たり記念として寄贈したものです。同ケアハウス入所者代表のお年寄りは壁画「少年あしべ」を見て、「これは良くできている。」とニッコリ。ありがとうございました。

青少年健全育成
第七回作文コンクール

最優秀村長賞に小林明紀子さん

（泉崎一小・六年）

泉崎村青少年健全育成第七回作文コンクール表彰式が去る三月五日㈭、役場会議室で行なわれました。

このコンクールは、村青少年育成会議が毎年実施しているもので、今年も、一小、二小、中学校から六六六点の作文の応募がありました。これらの作文は、中野目助役、木野内教育長、村越公民館長、小・中学校長ら七名によって去る二月に審査され、最優秀村長賞一点、最優秀賞二点、優秀賞六点、佳作九点、努力賞十六点が選ばれました。

応募作文は、どれも優れた作品であり、私たち大人がもう一度考えてみなくてはならないような内容のものが多数ありました。広報では、これらの入賞作品をこれから毎月掲載いたします。

受賞者のみなさん

入賞者のみなさん

（学校・学年は三月現在）

【小学校の部】

◆最優秀村長賞
小林明紀子　一小六年

◆最優秀賞
木野内理香　二小五年

◆優秀賞
中畑　純　一小五年
星　和子　一小六年

泉崎村中核工業団地造成工事現地

県交通事故防止コンクール 十位入賞

福島県交通対策協議会（会長佐藤栄佐久）と福島県警察本部（本部長　警視監原田勝弘）による平成三年市町村別交通事故防止コンクールにおいて、わが村がCグループ十位に入賞しました。これは、交通安全対策を積極的に推進し村民が一致協力して交通事故防止につとめたことが評価されたものです。

関係者一同はこれからも、事故防止に尚一層頑張りたいとしています。

賞状を手に　根本さん

（ウェザーステーション）微気象観測システム導入される

（幼苗接木システム）恒温恒湿庫システム

農作業に大きな効果が期待される微気象観測システムと恒温恒湿システムがこの度完成しました。

（ウウザーステーション）微気象観測システム

●ウェザーステーション（気温、地温、湿度、雨量、風速、風向、日照量、気圧）二台

●パソコン（観測データの解析、蓄積、予想）　二台

川崎地区は役場に、関平地区は農協育苗センター内に設置されました。

事業費は五、三二五千円

今まで、わが村の気象情報は、白河測候所のデータを基をしていたため地域ごとのデータが正確に得られなかったため、晩霜や降雹等の災害に悩まされていました。

今回、当システムを導入したことにより、正確なデータの収集とともに農協、各生産部会との連携が密になり、適切な出荷予測ができ有利な販売に結びつけることができます。また、果樹や野菜、水稲等の農産物を気象災害にあわないよう適正栽培することに大いに役立ちます。

（幼苗接木システム）恒温恒湿庫システム

●恒温恒湿庫システム　四・五坪を三庫

関平事業所に設置されました。

事業費は一八、四四〇千円

わが村の特産品である完熟トマトの栽培では、連作障害による土壌病害の発生が多くなっており、ほ場の移動か接木でないと栽培できないほ場が急増しています。このトマトの接木苗を供給するため当恒温恒湿庫システムが導入されたものです。接木苗の供給により青枯病等の病害を回避でき二十～三十％の増収が見込まれます。更に、野菜や花果実等の予冷や出荷調整、長期貯蔵ができ多目的に活用できるものとして期待されます。

幼苗庫を視察する関係者

小林真梨子　二小五年
小針有希子　二小五年

◆佳　作
有賀　文香　一小四年
小林　由紀　一小五年
鈴木　裕美　二小四年
大塚　康成　二小四年
草野真由美　二小六年
木野内麻里　二小六年

【中学校の部】
◆最優秀賞
橋本　陽子　一年

◆優秀賞
中畑　真　一年
高橋　幸恵　三年

◆佳　作
久保木成江　二年
星　智子　三年
佐々木　淳　三年

若い世代と語り合う会（二月二十八日）

まず話してみよう！

去る二月二十八日㈮、老人センターで若い世代と語り合う会が開催されました。この会は中央公民館のゆずりは学級が主体となって毎年開催されているもので今年も、高齢者代表五人、婦人代表一人、青年代表二人、企業代表二人、文化団体代表一人の計十一人のみなさんが一人約五分間スピーチしました。高齢者のみなさん、婦人・青年学級生、新任教職員のみなさんなど約百五十人が参加し、発表者の一人ひとりに大きな拍手を送っていました。
みなさんの発表の概要をご紹介します。（要約は笹沼社会教育指導員）

参加者１５０人でした

私の求めた趣味

高齢者学級　笠井由春

私は、多くの人と喜こびを分かち合う趣味をとおして、生きがいを求め、体力のおとろえを防ぐため、山野草園芸に取りくんでいる。山野草の栽培に取り組んで八年になるが、高砂学級に入級しての学習で更に趣味が充実してきた。今後とも色々な趣味を持ち頑張りたい。

泉崎の住民になって

高齢者学級　北住トシ子

私は石川町に生れ育ち、昭和三十二年から泉崎村住民となった。住民となって感じたことは近所の人々がみな親切であったことだ。泉崎は近年、企業も増え、色々な施設もでき、新しい文化の波が感じられてきた。今後、高齢社会を迎えるにあたって老人むけの施設がほしい。

明日の泉崎を支える我々のなすべきことは

青年学級　佐川利恵

自然破壊、バブル崩壊、一局集中の見直しなど東京中心の生活が変ってくる。我が泉崎村は、日本一の村づくりをスローガンに村の様相が変ってきた。大企業の進出、人口の急激な伸び等、我々若い世代もこれらの問題に真剣に取り組まなければならない。

企業と休暇のあり方

ムサシノ機器製作所　吉島智明

私は、入社十ケ月目である。一二六日の休暇がありスポーツ、レジャーへと計画を立て有効に過ごしている。休暇の過ごし方が日本人は下手なので研究する必要がある。泉崎村にも休暇の過せる施設、スポーツ、娯楽の施設が欲しい。

バイクで遊々日本一周

高齢者学級　鈴木明正

バイクで日本一周をしようとの夢をもち、とりあえず昭和五十四年、戦友の墓参りの目的で、バイクで佐渡ケ島へでかけた。日光から沼田、小出、長岡、を経て新潟港から佐渡へと渡り佐渡を一周した。今後も体力のあるうちに自分の力を試してみたい。

壮年層の余暇活動について

いちょうの会
渡部健次

昨年五月、四十才～六十才の壮年男子の余暇活動の一環として「いちょうの会」を結成した。一年間、研修健康増進、レク等について学習をすすめてきた。西洋の諺に「人の籠に三つの卵がある。」職業、家庭、趣味の三つの卵であるが、この三つの卵を持ち人生を有意義に送りたい。

私の余暇活動

高齢者学級
高根沢博

余暇とは、みつけるものみつけて行うものと思っている。小学生の頃、母に読書をさせられ、それが現在まで続き、私の余暇活動となっている。福沢諭吉の、「学問のすすめ」は何度も読んだが参考になる。読書を通して今後共充実した余暇を送りたい。

一日一善の信条を心して

高齢者学級
年本昭治

私は、心のこもった挨拶をするように心がけている。「おはよう」、「こんにちは」の後に、「暑いですね」「寒いですね」と一言つけ加えるようにしたい。挨拶は標準語より表情語で行うとよい。「挨拶は薬よりも効く」が私の信条である。子や孫に残せるものは、ほほえみと励ます言葉である。

私の余暇活動

婦人学級
瀬戸春子

余暇とは、仕事から解放されて自由に使える時間と思っている。書道は一生の心の支えであり、コーラス活動が楽しいと思っている。今後とも、大きなコーラスの広がりで、村づくりに少しでも貢献できたらと考えている。

二十一世紀の商業の発展

青年学級
田崎貴紀

商工会青年部の「泉崎商店街をつくる会」で大型店舗のショッピングセンターをつくる計画を立てている。

ショッピングセンターに行くと何でも用が足せ、活気があって人の集まる街づくりを推進するため、会員が色々な発想をもって検討している。

企業と休暇のあり方

ムサシノ機器製作所
緑川新一

私は入社して一年目。週休二日制の現状を考えると①は企業が多くなり若い人材の確保に関係している。②は企業の労働時間に関係している。今後は、休日が増えてくる傾向にある。働くそして遊ぶ。仕事にやる気が出てくる。必然的に会社のイメージも変ってくる。

無花泉の会

仲間になりませんか

私達は月に一～二回福祉関係のボランティア活動をしているサークルです。ボランティア活動とは「自主性に基づいた社会奉仕活動」ということであり、お喋りをしながら趣味を生かしたり教えてもらったり喜んでもらえるという楽しい活動です。和太鼓も週一回の練習を重ね老人ホームの慰問やイベントに参加したり健康づくりにも役立ちます。年齢は問いませんので是非ボランティアの仲間になりませんか。詳しくは五三―二一〇四五十嵐までどうぞ！

何故こんなことを……

先頃、ＪＲ東北線泉崎駅の渡り通路の両脇壁板が、十数カ所壊され、大きな穴ぼこになっていました。

現在、白河警察署で、捜査中ですが、村でも、青少年健全育成協議会を開き、その対応策を協議することとしています。泉崎駅から毎日通学している高校生は「ここを通るたびに、腹が立ちます。とても厭な気持ちです。」と話しています。

誰れが、何故、このようなことをするのでしょうか。駅は、村内はもとより、村外の人々が毎日多勢利用するところです。この穴ぼこを見て不快な気持ちになり泉崎村の印象は悪いものとなります。ここに住む私達までが恥かしい思いをしなくてはなりません。何かを蹴りたければサッカーボールを、何かを壊したければ石でも叩きましょう。理不尽な破壊には怒りを感じます。このような暴力行為を見かけたら警察、または役場にすぐご連絡くださるようお願い致します。

泉崎村立病院 更に高度医療を

平成三年度医療機械購入事業（年金積立金還元融資対象事業）により次の医療機械が購入されました。

- **自動現像機**
  （セプロスM）
  更　新
  （用途）レントゲンフィルム現像処理
  （購入額）7,004千円
- **無　影　灯**
  （ニューアルコス）
  更　新
  （用途）手術部位照明
  （購入額）2,060千円
- **全身麻酔器**
  （エクセル110）
  更　新
  （購入額）2,884千円

平成４年度 青少年国際交流事業

航空機による青年の海外派遣

インド、アラブ首長国連邦、モロッコのうちの１か国にそれぞれ約９人、中国、韓国のうちの１か国にそれぞれ約17人の日本青年を約20日間派遣します。

訪問国では、その国の青年たちとお互いの文化の紹介、スポーツ等を通じた交流、奉仕活動、民泊、産業・文化・教育・社会福祉等各種施設の見学などを行います。

訪問国		インド	アラブ首長国連邦	モロッコ	中国	韓国
実施時期		平成４年９月～10月（約20日間）				
募集人員		一般団員各約７人			一般団員各約15人	
		渉外団員（総務）各１人 渉外団員（通訳）各１人			渉外団員（通訳）各２人	
資格要件	年齢	一般団員：20歳～29歳（昭和37年４月２日～昭和47年４月１日に出生）				
		渉外団員：おおむね25歳～35歳				
	語学力	一般団員：訪問国の公用語若しくはこれに準する言語又は英語により簡単な日常会話ができること				
		渉外団員：一般団員に同じ（総務） 渉外団員：訪問国の公用語又はこれに準する言語により任務を遂行できること（通訳）				
	その他	一般団員への学生の応募は不可				
研修実施時期	事前	７月中の約５日間（於：東京）				
	出発前	出発直前の約２日間（於：東京）				
	帰国後	帰国直後の約２日間（於：東京）				
個人負担経費		約10万円				

ふくしま国体 マスコット愛称募集

平成７年に、第50回国民体育大会が、テーマ「ふくしま国体」スローガン「友よ　ほんとうの空に　とべ！」のもとに、福島県において開催されます。

この**「ふくしま国体」マスコットの愛称を募集します。**

＊応募資格

個人・グループ・団体など特に制限はありません。

＊応募方法

(1)　はがき、１枚につき愛称１点とします。

(2)　一人何点でも応募できますが、自作・未発表のものに限ります。

(3)　住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、勤務先（在学者は学校名、学年）、電話番号を必ず記入してください。

＊送り先及び問い合わせ先

〒960 福島市杉妻町５番75号
福島県国体局総務課 ☎ 0245-21-7538

＊募集期間

平成４年４月１日(水)～４月30日(木)
「当日消印有効」

私のホストファミリー体験

初詣、おみくじ、熊手って？

鈴木政信

泉崎に越して来て一年になります。

村がオーストラリア・テモラ町と友好姉妹都市を提携している事は以前より知っていましたが、まさか自分の家にオーストラリアからホームステイが来るとは思ってもいませんでした。当然の事ながらお互いに不安と緊張はありましたが、相手が二十二才と若い事と我が家に九カ月の子供がいたため時がたつにつれ緊張がほぐれ、本当の家族の様な気がして来ました。

特に、特別な扱いもせず日本語と英語で日本の年越し及び正月の伝統的な風習を教えてあげると同時に、オーストラリアの習慣を教えてもらいました。

日本の文化や風習を教える事は、とても難しかったです。

例えば、除夜の鐘、初詣で、おみくじ、熊手等、何故？　Why?の連続でした。古い日本語、辞書、和英辞典を引きながら毎日、夜おそくまで話しました。あっという間に六日間がすぎ帰る時には、とても淋しい気がしました。

数日後、彼女よりお礼状がとどき、楽しかった日々を思い出すとともに今度は我々がオーストラリアに行って見ようと思いました。

お正月を一緒に過しました

小さなアトリエ ㉔

星智子さん（泉崎中学校二年）の塑像「スポーツをする人」

先生のひとこと

「針金に粘土を直ぬりした像ですが、瞬間の動きがよく表現されていて、躍動感があります。」

泉崎中　阿部教諭

今月のほほえみさん ㉔

佐川利恵さん（字雷52）

生年月日	昭和44年３月３日
血液型	Ｏ　型
身長	１５２cm
体重	43kg。なんて、目標。
得意スポーツ	特になし
趣味	ドライブ、冬はスキーか。
好きな食べ物	おすし、スパゲティ等
得意料理	グラタン
好きなことば	忍　耐
好きなタイプ	加勢大周くんかな。

年金の泉

国民年金の加入手続きをしましょう。

国内に住所を有する二十歳以上六十歳未満のすべての方は、公的年金に加入しなければなりません。職種などにより、第一号被保険者・第二号被保険者・第三号被保険者の三種類に分かれます。第一号被保険者は農業や自営業、学生などの方、第二号被保険者はサラリーマンやＯＬなど被用者年金保険（厚生年金保険や各種共済組合）の方、第三号被保険者は第二号被保険者により扶養されている配偶者の方です。

加入の手続きは、第一号・第三号被保険者は本人が役場に届け出しますが、第二号被保険者については会社等の事業主が行います。

さらに、一度加入の手続きをしても本人や扶養している者、扶養されている者の職種などに異動や変更があったときにはその都度届出が必要です。

伸びゆく企業紹介 ㉔

東京ゴム製品工業株式会社 福島工場

所在地　大字泉崎字山崎山七番地　TEL53－3900（代表者　半田節夫）
従業員数　二十九名（男19名、女10名：村内9名、村外20名）
資本金　三、〇〇〇万円
年間生産額　五〇〇、〇〇〇千円
業種　工業用ゴム製品製造販売
業務内容　プレスゴム、ゴム射出成形機にて自動車、各種機械のゴム製品を生産しています。
泉崎村に会社設立年月日　平成元年一月

わが社のミスターホープ

こんにちは 大高裕明（21才）です

わが社は、新鋭機器を導入し、技術開発を中心に自動車、情報機器等のゴム製品を製造販売している会社です。

本社は、東京都足立区にありますが、その中核工場として、平成元年一月に泉崎村に創設しました。わが社は今年で創立50年を迎えますが、その技術力は高く評価されており、それを励みに、全員が各職場で意欲的に取り組んでいます。また、職場改善活動も定期的に発表会を開催するなど積極的に行っています。一方、仕事を離れた場所での息抜きとしてスポーツ、レクリエーションなどを家族ぐるみで行い、職場の仲間の親睦も盛んに行われています。

今後も、高品質の製品づくりをめざすとともに、地域の皆さんに親しまれる会社として頑張っていきたいと思います。

マイ・クッキング ㉔

小山田真喜子（字下宿）

つみれ汁

◆材　料（4人分）
つみれ（さんま 300g、おろししょうが 大さじ 1、みそ、酒 各小さじ 2、小麦粉 大さじ 2）
大根 200g、にんじん 100g、ねぎ 4～5本、だし カップ 5
酒、塩、薄口しょうゆ。

◆つくり方
①さんまは頭と腹ワタを取り、きれいに洗い、水けをふいて手開きにし、中骨と腹骨、皮を取り、身をぶつ切りにする。
②フードプロセッサーに①を入れ、おろししょうが、みそ酒、小麦粉を加えて20～30秒間かけ、つみれ種をつくる。
③大根、にんじんは皮をむいて短冊に切り、ねぎは3㎝長さに切る。
④だしに大根、にんじんを入れ火にかけ、酒大さじ2、塩小さじ¾を加えて煮、大根が煮えたら、木しゃもじにのせたつみれ種をはしで落とし入れる。
⑤つみれが浮いてきたらアクを取り、薄口しょう油少々で味を調え、仕上げにねぎを入れる。

いずみざきの四季の野草 ⑧

ハコベ（なでしこ科）

畑、庭、道ばたなどによく生える越年生草木で、春の七草の一つです。はこべらともいわれ、花は白色で花弁は五枚ですが、深い切れこみがあるので十枚のように見えます。ふつうの「はこべ」はめしべの先が三つに別れています。カナリアなどの餌にしますが、私達人間にとっても健康食品の一つと考えられます。

伝えたい 昔の遊び 残したい 昔の心 ①

年本昭治（字小林）

だんごさし（まゆ玉・鏡餅・だんご花）

初山入りで取ってきた、みづの木にだんごをさし、松飾りを取った後に供える。１月14日朝に飾りたて、１月20日に取り除く。

これは、この一年が豊かな実りであるようにと、作物の様々な実りの姿を予想して飾りたて、正月の神に祈願する素朴な行事である。

だんごのほかに、俵・まゆ・家畜・えびす・大黒・大判・小判・菓子等を一緒に吊るす地方もある。

だんごを飾る場所は、その家のしきたりによって異なるが、大粒のだんごを16個つけた十六だんごは、大黒柱や神棚など、一番権威ある場所に設置される。

今はせち辛い世の中であるが、だんごを飾って祝う、ゆとりのある気持ちだけは、大切にしたいものと思います。

俳句㉔

文芸「とうげ」16号より

青い空雲一すじの旅ごころ　五十嵐正蔵

卒業と進学家計を赤くする　磯貝　吉男

ぬるま湯のままで迎える幾春秋　鈴木　勝吉

入学の孫マンションの主となり　大塚　勇雄

流されてまだ生きる気の藁つかむ　小山田吉光

母の胸子の北風を受ける窓　木野内良爾

中流の意識でいつも火の車　佐藤　惣司

春の風心のひだにしみる空　円谷　泰秋

藪中に小さい春の声を聞く　広瀬　一二

良心を捨てて仮面の緒を締める　松山　富夫

風切った肩にずっしり重い税　丸山　好儀

通知票ほめて指切りさせられる　緑川浅次郎

ふるさとの民話 ㊱

膳棚

昔、源頼義、義家は奥州の阿倍頼時その子貞任が反逆したので、これを征伐するために奥州に向った。その軍勢も三千騎と言う。

この大勢に食事を給することは並大抵のことではない。

陣ケ平の阿倍軍の陳地を乗っ取った源氏の軍勢は北に向って陣を敷いた。

その軍勢への食事は四斗蒔や八斗蒔で御飯を炊いてこの膳棚で膳立てをした。それでここを膳棚と言うようになった。

泉崎外ノ入　有賀マサ

ジョメウマヒヤク

泉崎の中野さまと棚倉の八槻さまとが勢力争をして遂には両方戦争となった。

八槻さまが中野さまに追われて蕪内まで逃げ、カブ畑にかくれて命が助かった。この地を蕪内となった。

中野さまが勝ったが乗馬が疲労したので、水をくれるのに特製の柄杓があった。この柄杓は丸さ直径5寸、口高5寸で柄はない。これはアカガネ製であった。これをジョメウマヒヤクと言う。

これで乗馬に水をくれた柄杓である。

泉崎字下宿　星　ハル

「泉崎の民話」より

うちの赤ちゃん㉔

千穂ちゃん（1才2カ月）
荒井孝祐・弘子さんの長女 字証古

今月の行事

—中央公民館—

1日㈬ 子ども文庫（毎週㈬）、俳句教室、英会話講座（毎週㈬）、空手教室（毎週㈬㈮）
15日㈬ 書道会例会
18日㈯ ペンクラブ例会
24日㈮ 高砂学級開講式
28日㈫ 移動図書館（おおぞら号巡回）

—保育所—

7日㈫ 第11回入所進級式
8日㈬～21日㈫ 新入児なれ保育
9日㈭ 継続児平常保育開始
23日㈭ お弁当の日

—泉崎幼稚園—

9日㈭ 始業式
10日㈮ 入園式
13日㈪～15日㈬ 身体測定
20日㈪～24日㈮ 家庭訪問

—泉崎一小—

6日㈪ 始業式・入学式
7日㈫ 身体測定（高）
8日㈬ 身体測定（中）
9日㈭ 身体測定（低）
自転車教室
13日㈪ 交通安全教室
14日㈫ 家庭訪問
15日㈬ 家庭訪問、歯科検診、交通安全パレード
16日㈭ 家庭訪問、歯科検診
17日㈮ 家庭訪問
20日㈪ 家庭訪問
21日㈫ 家庭訪問
22日㈬ ぎょう虫卵回収日
自然教室
24日㈮ 春の遠足
30日㈭ 授業参観日

—泉崎二小—

6日㈪ 始業式・入学式
7日㈫ 身体測定（高）
ツ反接種
8日㈬ 身体測定（中）
9日㈭ 身体測定
10日㈮ 新入生を迎える会
BCG接種
11日㈯ 交通教室・方部子供会
13日㈪ 緑の少年団結団式
14日㈫ 視力検査（高）
15日㈬ ぎょう虫卵・尿検査提出日
17日㈮ 授業参観・PTA総会
20日㈪ 視力検査（中）
21日㈫ 視力検査（低）
22日㈬ 遠足（一～五年）
修学旅行（六年）
23日㈭ 西白河小教研総会（授業3校時限）
X線撮影
24日㈮ 聴力検査（一・三・五年）
27日㈪ 心電図検査（一年）

—中学校—

4日㈯ 新三年生登校
6日㈪ 第一学期始業式、入学式
8日㈬～10日㈮ 三年修学旅行
21日㈫ 家庭訪問第一日目
22日㈬ 家庭訪問第二日目
23日㈭ 家庭訪問第三日目
24日㈮ 家庭訪問第四日目
28日㈫ 家庭訪問第五日目

おいわい おめでた おくやみ

□結婚おめでとうございます。

新郎・新婦　住所
橋本　正次　太田川字岩崎一番地
　　明美　泉崎字別所三番地
行武　勝昭　泉崎字行屋二十五番地一
　　弘美　関谷公子　正文・とし子
田崎　洋　関和久字瀬知原七番地
　　富士子　房十六番地　関和久字瀬知房七番地
遠藤早紀　祐司・春美
泉崎字内屋敷十二番地
鈴木雄太　勲・みち子
関和久字豊内七番地
田崎陽介　智・裕美子
泉崎字谷地久保五十番地四
成瀬　譲　英裕・映枝

□出産おめでとうございます。

お子様名　父母名
泉崎字小林四十二番地
深谷　早　廣三・由美子
北平山字新田東山三八番六
大沼拓也　哲夫・里子
関和久字富内一〇四番地
田崎由香　徳・いみ子

■謹しんでお悔み申し上げます。

泉崎字下宿三十四番地
武田　銀助　六十八才
泉崎字四ツ屋前六番地の二
田崎　三夫　七十一才
太田川字金山三十四番地
本柳　サク　八十八才
踏瀬字長峯七十一番地
水戸　勘治　八十九才

お詫びと訂正

広報「いずみざき」3月号19ページの俳句の中に誤りがありましたので、訂正しお詫びいたします。
誤・特売の廊下に揺るる団子花
正・特老の廊下に揺るる団子花

〈村のうごき〉

	人口	人口	合計	世帯数
（3月1日現在）	男 3,387人	女 3,487人	6,874人	1,629戸
（2月1日現在）	男 3,385人	女 3,476人	6,861人	1,627戸